



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,306	19.1	2,752	14.3	639		569	
2020年3月期第3四半期	57,244	12.0	3,210	15.2	3,407	19.9	1,901	21.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 238百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 2,278百万円 (17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	69.35	
2020年3月期第3四半期	232.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	59,147	39,477	58.2	4,176.54
2020年3月期	56,004	40,361	63.3	4,328.49

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,442百万円 2020年3月期 35,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		40.00	70.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	11.2	4,800	10.9	1,500	74.4	1,000	71.2	121.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	8,867,000 株	2020年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	620,449 株	2020年3月期	676,604 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	8,217,192 株	2020年3月期3Q	8,180,759 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年春以降急速に景気が悪化しましたが、昨秋以降は、半導体や自動車などの製造業で、需要が急回復しました。当社グループ（当社及び連結子会社）の主要原材料で製造業全般の動向を映す銅の価格は、金融緩和の影響もあり、上昇を続けました。

当社グループでは、需要が減少したため、臨時休業日を設けて雇用調整助成金を受給しましたが、昨年末には、通常操業に復しました。また、2020年6月26日に、当社の100%子会社のサンエツ金属株式会社は、①日立アロイ株式会社から黄銅棒事業及び加工品事業と黄銅線製造設備を譲り受ける契約と、②日立金属株式会社から同社桶川工場の銅合金事業譲り受け、日立金属商事株式会社から当該事業に関する営業権を譲り受ける契約を締結しました。前者は、昨年末までに、ほぼ譲受を完了し、後者は、主たる販売先である自動車部品メーカー各社の認証取得手続きの途上にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、銅相場が前年同期と比較して高い水準であったものの、感染拡大の影響により、伸銅事業の販売量が、住宅・建設や、電気・電子機器などの分野で減少したため、売上高は463億6百万円（前年同期比19.1%減少）となりました。営業利益は、銅相場が上昇し、原料相場差益が発生したものの、感染拡大の影響により、27億52百万円（同14.3%減少）となりました。営業外費用として、デリバティブ損失が12億32百万円、デリバティブ評価損が23億73百万円発生したため、経常損失は6億39百万円（前年同期は経常利益34億7百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億69百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19億1百万円）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、感染拡大の影響により、住宅・建設や、電気・電子機器などの分野での需要が低迷したため、販売量は6万1,449トン（前年同期比17.3%減少）となりました。売上高は、銅相場が前年同期と比較して高い水準であったものの、感染拡大の影響により、373億42百万円（同20.0%減少）となりました。セグメント損益は、銅相場の上昇に伴う原料相場差益が発生したため、20億円（同6.9%増加）のセグメント利益となりました。

精密部品

精密部品事業では、感染拡大の影響により、レンズ交換式カメラに使用されるカメラマウントなどの需要が低迷したため、売上高は20億99百万円（前年同期比27.2%減少）となり、セグメント損益は2億44百万円のセグメント損失（前年同期はセグメント損失69百万円）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、感染拡大の影響により、配管機器需要が低迷したため、売上高は68億63百万円（前年同期比10.5%減少）となり、セグメント損益は7億55百万円（同32.9%減少）のセグメント利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は378億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億48百万円増加しました。これは主に、たな卸資産が12億54百万円増加したことによるものであります。固定資産は212億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億95百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が9億53百万円、繰延税金資産が5億99百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は591億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億43百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は173億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億37百万円増加しました。これは主に、短期借入金が40億円増加したことによるものであります。固定負債は23億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加しました。この結果、負債合計は196億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億27百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は394億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億84百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失が5億69百万円であったことと、期末配当3億52百万円、中間配当2億63百万円を行ったことによるものであります。この結果、自己資本比率は58.2%（前連結会計年度末は63.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月20日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年2月12日)発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,292	3,398
受取手形及び売掛金	18,927	19,280
商品及び製品	4,599	4,609
仕掛品	4,393	5,157
原材料及び貯蔵品	3,802	4,282
その他	785	1,222
貸倒引当金	△52	△54
流動資産合計	36,747	37,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,741	12,244
減価償却累計額	△5,496	△5,653
建物及び構築物 (純額)	6,244	6,591
機械装置及び運搬具	22,089	23,893
減価償却累計額	△19,723	△20,173
機械装置及び運搬具 (純額)	2,365	3,720
土地	6,673	6,903
建設仮勘定	1,281	149
その他	1,873	2,182
減価償却累計額	△1,560	△1,716
その他 (純額)	313	466
有形固定資産合計	16,877	17,831
無形固定資産		
ソフトウェア	11	397
ソフトウェア仮勘定	382	10
その他	16	14
無形固定資産合計	410	422
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059	1,478
退職給付に係る資産	21	21
繰延税金資産	799	1,398
その他	90	101
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,969	2,998
固定資産合計	19,257	21,252
資産合計	56,004	59,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,784	5,648
短期借入金	1,700	5,700
未払金	816	190
未払費用	777	922
未払法人税等	1,218	100
賞与引当金	1,029	410
設備関係支払手形	1,057	729
その他	1,009	3,628
流動負債合計	13,392	17,329
固定負債		
繰延税金負債	337	364
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,336	1,424
その他	296	270
固定負債合計	2,250	2,340
負債合計	15,643	19,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,340	4,351
利益剰余金	28,822	27,637
自己株式	△843	△848
株主資本合計	35,076	33,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	19
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△38	△39
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	375	545
非支配株主持分	4,909	5,035
純資産合計	40,361	39,477
負債純資産合計	56,004	59,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	57,244	46,306
売上原価	50,931	40,507
売上総利益	6,313	5,798
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	768	681
給料及び手当	803	830
退職給付費用	21	22
貸倒引当金繰入額	—	1
その他	1,508	1,510
販売費及び一般管理費合計	3,103	3,046
営業利益	3,210	2,752
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	25	22
デリバティブ利益	143	—
デリバティブ評価益	65	—
業務受託料	36	36
雇用調整助成金	—	231
その他	120	109
営業外収益合計	396	402
営業外費用		
支払利息	7	2
為替差損	21	5
デリバティブ損失	—	1,232
デリバティブ評価損	134	2,373
クレーム補償費	26	16
その他	9	162
営業外費用合計	199	3,794
経常利益又は経常損失(△)	3,407	△639
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	36	15
特別利益合計	36	16
特別損失		
固定資産除却損	14	74
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	14	82
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,430	△705
法人税等	1,108	△199
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,321	△505
非支配株主に帰属する四半期純利益	419	64
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,901	△569

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,321	△505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	266
為替換算調整勘定	△7	△0
退職給付に係る調整額	6	0
その他の包括利益合計	△43	266
四半期包括利益	2,278	△238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,860	△400
非支配株主に係る四半期包括利益	417	161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、世界的に外出や移動が制限される中、消費や企業の経済活動が停滞したため、当社グループにおいても、需要の減少により、販売量が落ち込み、工場を臨時休業したため、売上高の減少等、当社グループの業績に大きな影響がありました。また、本感染症の収束時期やその影響の程度を正確に予想することは困難であります。

固定資産に関する減損損失の認識要否の判断、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社事業への影響は、当第3四半期末より通常操業にほぼ復したものと仮定し、会計上の見積りを行っております。新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	46,693	2,885	7,666	57,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,665	44	7	2,718
計	49,358	2,929	7,674	59,962
セグメント利益又は損失(△)	1,871	△69	1,126	2,929

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,929
セグメント間取引消去	616
全社費用	△334
四半期連結損益計算書の営業利益	3,210

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	37,342	2,099	6,863	46,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,976	37	4	2,018
計	39,319	2,136	6,868	48,324
セグメント利益又は損失(△)	2,000	△244	755	2,512

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512
セグメント間取引消去	598
全社費用	△358
四半期連結損益計算書の営業利益	2,752

(重要な後発事象)

該当事項はありません。